

# 平成29年度 西紋地区ホタテガイ採苗情報 (No.2)

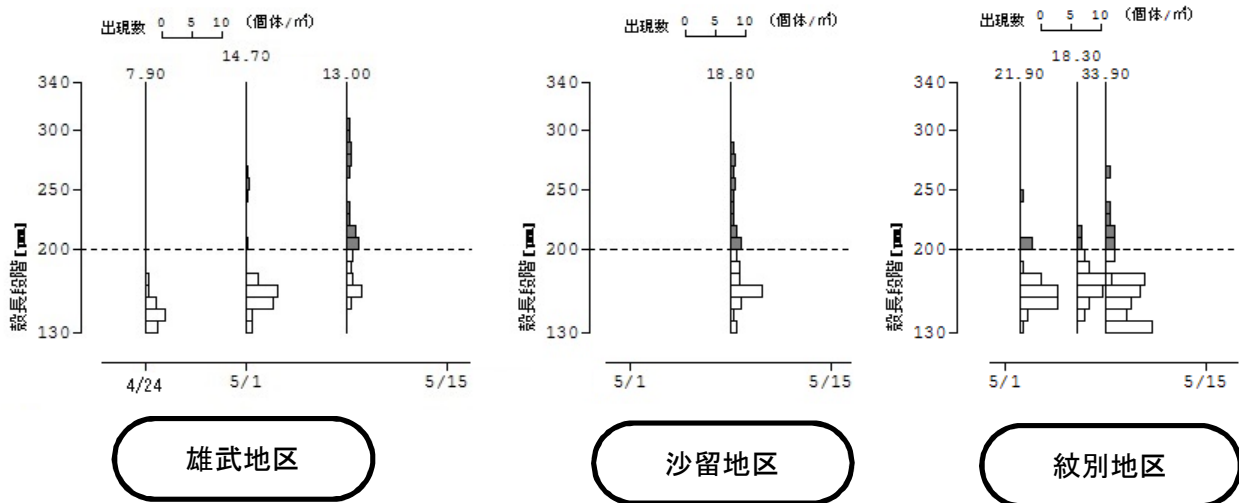
平成29年5月9日  
網走西部地区水産技術普及指導所

5月8日に雄武～紋別地区でホタテガイ浮遊幼生調査を行ったので結果をお知らせします。

- ・ホタテガイラーバのサイズは130～300 $\mu$ mで、ほぼ連続して出現し、250 $\mu$ m以上の付着サイズのラーバも見られています。
- ・その他二枚貝の浮遊幼生は89～368個/トンでした。
- ・調査海域の水温・塩分ともに上昇しました。

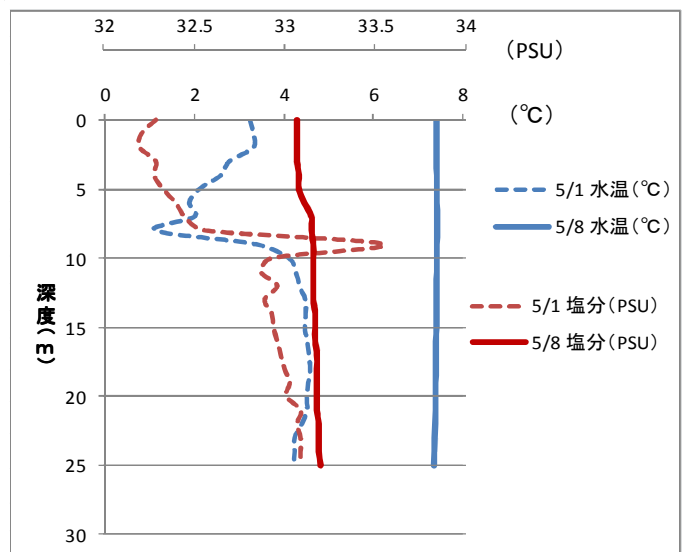
## ○浮遊幼生調査

浮遊幼生殻長組成の出現状況



## ○沿岸環境

- ・雄武地区の5/1と5/8の鉛直水温及び塩分濃度を図に示しました。
- ・5/1と比較して、5/8の水温、塩分は全体的に高めになり、表層から底層までほぼ一定の値となりました。
- ・5/1の海水サンプルは珪藻が多く、濃い緑色でしたが、5/8の海水サンプルは珪藻が減少して、海水の色が比較的薄くなりました。



## ○採苗器の投入状況

- ・雄武地区・沙留地区では、ほとんどの漁業者が採苗器を投入しました。
- ・紋別地区では、5/8から順次投入されています。